

2025年度 第2回 生物多様性の保全に向けたネットワーク会議

生物多様性を守り、豊かな自然を未来へと引き継ぐためには、若者世代、企業、NPO、各種団体など、多様な主体による自然環境保全の取り組み推進が不可欠です。「自然共生サイト」は、地域で行われているさまざまな自然保全活動を“見える化”し、「30by30目標」の達成に向けて自然再興を促進する仕組みです。

第2回では、2023年前期に「自然共生サイト」として認定された「新梅田シティ 新・里山」を見学し、都市部における生物多様性保全の事例を学びます。本見学会を通じて、「都市における緑の役割」や「私たち一人ひとりにできること」について考えていきます。

テ ー マ：都市における緑の役割とは ～自然共生サイトを通じた生物多様性保全

日 時：2025年12月20日（土）
13：30～16：00
＊開場（13：15）

会 場：グラングリーン大阪 JAM BASE 7階 7-1

開催方法：オンライン(Teamsウェビナー)と

現地とのハイブリッド開催

参加費：無料

会場：定員60名

オンライン：定員60名

（オンラインは基調講演のみ）

13:30〈開会〉

〈基調講演〉

「庭から始める 都市の生物多様性保全の取り組み
～新・里山より～」

八木 隆史氏

（積水ハウス株式会社 ESG経営推進本部 環境推進部）

14:05〈ディスカッション・フィールドワーク〉

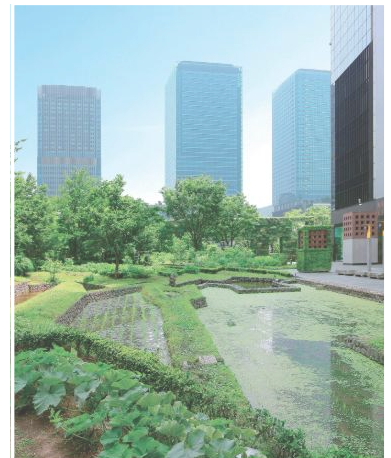
「新梅田シティ 新・里山」

〈まとめ〉

平井 規央氏

（大阪公立大学大学院農学研究科 教授）

15:55〈終了〉

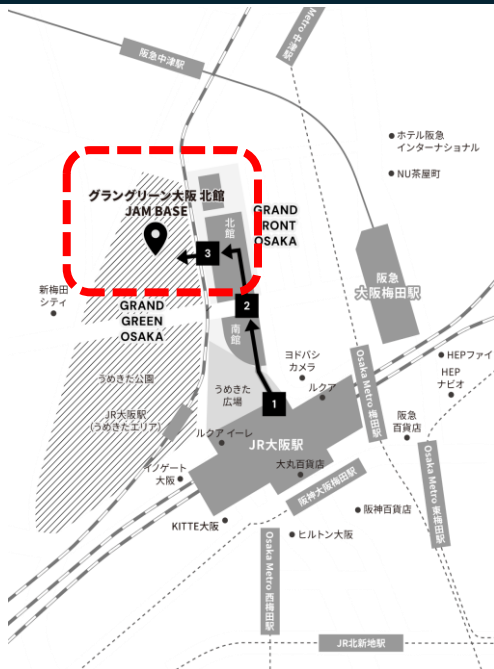


「新梅田シティ 新・里山」

「新梅田シティ 新・里山」

新梅田シティの公開空地に創設した「新・里山」(約8,000㎡)は、「3本は鳥のために、2本は蝶のために、地域の在来樹種を」という思いを込めた「5本の樹」計画に基づき、2006年に再造成された。都心にいながら約100種500本を超える中高木や200種以上の草花が咲き乱れる里山の原風景を望むことができる。

生物多様性に配慮した循環型管理手法も奏功し、絶滅危惧種を含む40種以上の野鳥や50種を超える昆虫類など多くの生き物が確認されるなど、豊かな生態系が育まれている。オフィスワーカーや近隣住民、観光客などにも「憩いの場」として親しまれ、都市の自然を介した地域コミュニティの場としても活用されている。



会場へのアクセス

グラングリーン大阪 JAMBASE7階

- ①JR大阪駅中央北ロアトリウム広場より
2回連絡デッキを渡り、グランフロント大阪へ
- ②グランフロント大阪 南館2階から北館へ
- ③グランフロント大阪 北館2階からグラングリーン大阪
北接続 ブリッジを通る
(ソフトバンク ワイモバイルの奥左側)

申込方法（下記の方法にてお申込みください）

1. Formsによるお申込み

お申込みはこちらから→

<https://forms.office.com/r/Y3GJsxrT32>

2. メールによるお申込み

k_kato321@jtb.comのアドレスに下記情報をお送りください

①お名前②フリガナ③ご所属（個人の場合は個人と記載）

④ご連絡先 ⑤メールアドレス

【申込締切】2025年12月19日（金）



主催：大阪市環境局

運営：株式会社JTB大阪教育事業部

(TEL) 06-6260-0290

(担当) 加藤恵一、立岩斉子

(MAIL) k_kato321@jtb.com